

ニューポート市を訪ねて

下市長 石井直樹

ロードアイランド州ニューポート市と昭和33年5月17日に国際姉妹都市提携して50周年の記念すべき節目の年にあたり、5月の黒船祭にニューポート市から24人の代表団をお迎えし、7月に開催された第25回ニューポート黒船祭に、

私を団長とする市民21名が14日から9日間、ニューヨーク・ニューポートを親善訪問してまいりました。

ニューヨークでは数十年ぶりにヤンキースタジアムで開催される米大リーグのオールスターゲームのパレードを見



ニューポート市議会議員の皆さんと下田市代表団 (N.P.市役所議場にて)

学することができ、イチロー夫妻やヤンキースのロドリゲス、そして往年の名選手ヨギ・ベラやハンク・アーロンを目の前で見ることができ、野球大好き人間の私にとって大変うれしい体験でした。



ニューヨークタイムズに掲載された記事 (ハリスの墓に手を合わせる市長夫妻)

立大学では『ニューヨークタイムズ』の取材を受け、カラー写真入りで大きく報道されたことは我々を少なからず驚かせました。儀式はものの数分で済んだ。この短い儀式のために、訪問団は下田からブルックリンまで約11、200キロを移動してきた。墓の側には玉泉寺から贈られた灯ろうが趣をそえ、住職夫妻からの記念額が埋め込まれている。日本とタウンゼント・ハリス高校から多くの墓参者があるが、下田市民ほど忠義を尽くす人はいない・・・



25回黒船祭式典で友好宣言文をタイムカプセルに (ワルックニューポート市長と)

17日、チャーターバスでニューポートへ。グーズベリービーチでの市長主催の夕食会でワルック市長の歓迎を受け、我々より2日後に出発した中学生4人と和泉先生と合流。いよいよニューポートでの交流行事がスタートです。18日、第25回黒船祭式典は威風堂々としたペリー提督の銅像があるトーロ公園でニューポート砲兵中隊の祝砲により開会されました。来賓祝辞、献花そして50周年を記念して両市長の共同署名入りの友好宣言文がタイムカプセルに納められました。



ワークショップで日本文化を紹介 (和風づくり)

その後、市内観光組と別れ下田高校の坂野教諭と関係者でロジャース高校を訪問。高校生の受け入れ可能性等について教育長、校長との懇談をしてまいりました。夜は、訪問団も楽しみにしていたベルマーでの晩餐会が盛大に開催されました。19日、ポストン観光組とトーロ公園でのワークショップ組に別れ、夕方の『下田通り』住民交流会で合流となりました。ここで市長、コイン議員から『SHIMODA WAY』の表示看板を下田市にプレゼントという思わぬサプライズがありビックリ。最終日にペリー墓前祭、米海軍大学長によるカクテルパーティー、日米協会主催のお別れパーティーに出席。少しハードなスケジュールで



RI日米協会会長へ下田市の記念品を贈呈 (土屋典康氏作の陶器)

たが、ニューポート市民の心からの歓迎を随所で受け訪問団一同にとって思い出多き旅となりました。ニューポート市立大学、ニューポート市、ロードアイランド州日米協会へのプレゼントを提供してくださった陶芸家「土屋典康」氏、ガイド役を受けていただいた「岡崎大五」氏に心からお礼申し上げます。



贈られたSHIMODA WAY看板

姉妹都市ニューポート市でのホームステイに参加された皆さんの感想を紹介します

7月16日(水)から24日(木)までの9日間、ロードアイランド州日米協会からの招待を受け、中学生4名と引率教諭がニューポート市の民間の方のお宅にホームステイし、ニューポート黒船祭公式行事への参加、それぞれのホストファミリーとの交流など、異文化に直接触れる貴重な体験をしました。



ホームステイに参加した皆さん (トーロ公園 ペリー提督像前にて)

催し物がきっちり始まったり、決められた時間の前に集合したりしますが、アメリカでは決められた時間にきっちり行くことがかえって迷惑になるそうです。アメリカはとても自由な国だと感じた瞬間でした。

◆宮川寛治さん

(稲生沢中学校)

僕にとって、このニューポート訪問、ホームステイはどれも初めての体験ばかりでした。

その中でもアメリカの文化に触れ、日本とアメリカの文化の違いを学ぶことが出来まされた。貴重な体験をすることができ、思い出もたくさんできたのでとても良かったです。

◆土屋恭佑さん

(下田東中学校)

期待と不安で参加したホームステイでしたが、ホストファミリーのフォガティさんの家族をはじめ、ニューポートの方々が暖かく迎えてくれました。日本ではしたことがない

◆田中満帆子さん

(下田中学校)

私がニューポート市を訪問して印象に残っていることは文化の違いです。日本では決められた時間に

色々な体験をさせてもらい、友達もたくさんでき、あつという間の1週間でした。今の僕では伝えられなかったことがたくさんあるので、英語を勉強し、また必ずニューポートへ行き、お世話になった人達に会いたいです。そして最後に、このような素晴らしい機会を与えて下さった方々に感謝したいです。

◆土屋智菜美さん

(稲梓中学校)

ニューポートでは、海に行ったりパーティーに行ったり毎日有意義なものでした。ホストファミリーもとても良く接してくれて楽しかったです。また機会があったら行きたいです。

◆和泉雄介教諭

(下田東中学校)

今回のニューポート市への訪問は、私にとって15年ぶりのことでしたが、市内4校の生徒と共に、無事に行ってくることができました。生徒達にとっては、初めての海外への訪問であり、最初は皆、緊張していた様子でしたが、日が経つことにホームステイ先の



ホームステイ先の子ども達と一緒に (ニューポートハーバーにて)